

「自分手帳」・「運動身体づくりプログラム」・「ふくしまっ子児童期運動指針」の効果的な活用を含めた体力向上・教科指導・武道安全指導等の指導力を高める「小・中・高等学校体育担当者連絡協議会」の開催

教員の資質向上

学校における肥満対応ガイドラインの活用による「肥満に関する健康相談・個別の保健指導担当者研修会」の開催

健康教育課



1 体力向上ムーブメント事業

新規 みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト

「長なわ八の字跳び」クラスで一致団結 レットライ！

プロジェクト目的・趣旨

○ 小学校児童の日常的な運動機会を増やし、子どもの体力向上を図るため、楽しくクラスメイトと協力しながら他校児童と競争する機会を設ける。なわとびは、どの学校でも実施できる運動であり、屋外・屋内どちらでも実施することができ、業間などのわずかな時間で手軽に実施できることから、短時間で運動機会の確保ができる。また、運動場所が限定される冬場において、屋内外問わずできるなわとび運動の効果は特に大きい。

プロジェクト概要

- 学級全員参加を原則とし、「9人以下」・「10～25」・「26人以上」の3部門
- 制限時間3分で跳んだ総計
- 実施した学校がWEB上で記録を登録し、順位化
- WEB上では、入力した記録をグラフで可視化可能

相双地区 運動習慣化モデル事業

相双地区の公立小学校・幼稚園を対象に「幼児期運動指針」と「ふくしまっ子児童期運動指針」を活用した幼児児童の運動習慣化モデル校実践研究を行う。

連携

2 専門アドバイザー派遣事業

小学校体育専門アドバイザー派遣

プロジェクト目的・趣旨

○ 小学校体育授業における運動身体づくりプログラムの指導支援、新体力テストの実施方法や分析結果の活用に係る指導支援、「自分手帳」活用に係る指導支援を行うアドバイザーを派遣する。なお、相双地区の、公立幼稚園から要請があればアドバイザーを派遣予定。

アドバイザーの業務（派遣先）

- ・授業の準備物の用意及び安全上の確認
- ・校庭、体育館等での授業準備
- ・授業における指導及びT2の役割の確認
- ・「遊びの提案」(業間・昼休み・放課後)
- ・放課後等、授業以外の体育的活動の補助
- ・プール等の管理における体育主任の補助
- ・「各種体力関係計画等」への支援
- ・新体力テストの準備、実施、補助、集計
- ・新体力テストの分析、考察、効果的な活用支援
- ・その他(体育や体力向上に関わる内容及び体育倉庫や体育用品の整理)

「ふくしまっ子児童期運動指針の活用」

ふくしまっ子 体力・健康優秀校表彰式

プロジェクト目的・趣旨

○ 児童生徒が体力向上、健康づくりに積極的に取り組み、顕著な成果を上げている県内の公立小・中学校・高等学校・特別支援学校を表彰することにより、県内児童生徒の体力向上・健康づくりの推進を図る。

プロジェクト概要

- ふくしまっ子元気大賞
 - 体力優秀校表彰
 - なわとびコンテスト表彰
 - 食育推進優秀校表彰
- 食育の実践記録を公募し、年間を通じた効果的な食育推進に取り組み、顕著な成果を収めた学校を表彰する。

6 プロジェクト推進事業

支援委員会及び評価委員会による実践・評価

支援委員会の取組

- ふくしまっ子児童期運動指針及び運動身体づくりプログラムの活用と検証
- 自分手帳の活用と啓発
- 派遣事業の活用事例研究
- 体力・運動能力年次データの調査・分析・考察
- 学校における肥満対応ガイドラインの検証

評価委員会の取組

- 体力向上総合プロジェクトの取組状況と結果の評価
- ・ふくしまっ子児童期運動指針の策定状況の評価
- ・自分手帳の活用状況と専門家派遣事業に対する評価
- ・新規事業「なわとびコンテスト」の評価

モデル校実践研究事業

プロジェクト目的・趣旨

- 可視化機器を導入しリズムやバランスを可視化をすることにより基礎運動能力を把握し運動に生かす。
- 可視化した記録をアドバイザーの適切な助言により体力向上に生かす。



3 元気キッズサポーター事業

プロジェクト目的・趣旨

○ 「幼少期における多様な動きづくり」を経験する時期に、屋外活動の制限等により基本的な動きを経験していない子どもたちが多く体力が低下しているため、小学校下学年及び未就学児の体力向上に取り組む市町村に対し、元気キッズサポーターの配置に係る経費を補助する。

6つのプロジェクトを一体的に展開！

4 食習慣・肥満等の健康教育に係る専門家派遣事業

プロジェクト目的・趣旨

○ 食習慣の乱れや肥満傾向児の出現率の増加などの健康課題解決や健康教育の指導内容・方法の充実に積極的に取り組む学校に対し、健康教育に係る専門家を派遣し、個別又は集団指導を行う。

プロジェクト内容

- 派遣する専門家は、医師・歯科医師・薬剤師・大学教授・栄養教諭等とする。
- 対象は、小・中・高・特別支援学校の児童生徒、教職員、保護者とし、学校の課題に応じた適切な指導内容に対応します。

5 自分手帳活用事業

プロジェクト目的・趣旨

○ 健康診断、体力・運動能力調査、食習慣等に関する記録を一元管理し、それをツールとして各教科や生活面で活用することで児童生徒の生活改善を図るとともに、家庭を巻き込んだ取組みに発展させる。

プロジェクト内容

- 手帳活用講習会の実施(小中高体育担当者連絡協議会)
- 元気大賞bookの作成配付(効果的な取組を紹介)